

「しがwebアンケートプラス調査」(県外)の結果について

1 調査の目的

県政における喫緊の課題や重要事項について、インターネットを活用し適時迅速に県民等の意識や意向を調査し、速やかに県の方針や県政運営に反映させるための基礎資料とする。

2 調査の概要

- (1) 調査対象 京阪神圏および首都圏在住の満 18 歳以上の個人
- (2) 標本数 1,000 人(京阪神圏402人、首都圏598人)
- (3) 調査方法 インターネットを利用し、パソコン、スマホ等により回答するWEB調査
- (4) 調査期間 令和3年10月21日(木)～10月28日(木)
- (5) 調査会社 株式会社都市設計総合研究所

3 調査項目

滋賀の食材の認知度にかかる調査

4 主な調査結果

Q1 次の滋賀の食材のうち、知っているものはありますか。(答えはいくつでも)

1 位:近江牛	76.7%
2 位:ふなずし	53.5%
3 位:近江米	42.0%
4 位:湖魚	28.3%
5 位:特にない	15.4%
6 位:近江の野菜	14.8%
近江の漬物	14.8%
8 位:近江の茶	12.4%
9 位:その他	1.1%

- ・「近江牛」を「知っている」と回答した人が、最も多く、次いで、「ふなずし」、「近江米」の順となっている。
- ・「ふなずし」、「近江米」を年齢別で見ると、40歳以上では「ふなずし」と回答した人が多かったが、40歳未満では「近江米」と回答した人が多く、2位と3位が逆転している。
- ・性別で大きな差がみられる食材として、「ふなずし」を「知っている」と回答した人は、男性では62.3%なのに対し、女性では38.8%となっている。
- ・「近江の野菜」、「近江の漬物」、「近江の茶」については、いずれの世代も、「知っている」と回答した人が8～10%台と低迷している。
- ・地域別に大きな差がみられる食材として、「近江米」を「知っている」と回答した人は、京阪神圏で70.9%なのに対し、首都圏では22.6%、「湖魚」についても、京阪神圏で40.8%に対し、首都圏では19.9%と、ともに倍以上の差がみられ、首都圏での知名度向上が課題であることが窺える。

Q2 次の滋賀の食材のうち、食べたことがあるものはありますか。(答えはいくつでも)

1 位:近江牛	47.6%
2 位:近江米	25.9%
3 位:特にない	24.4%
4 位:ふなずし	19.2%
5 位:湖魚	17.0%
6 位:無回答	15.4%
7 位:近江の野菜	10.5%
8 位:近江の漬物	9.8%
9 位:近江の茶	8.3%
10位:その他	0.9%

- ・Q1の結果と同様、「近江牛」を「食べたことがある」と回答した人が最も多い。
- ・2位は「近江米」、4位は「ふなずし」となっており、Q1の結果と順位が逆転している。
- ・「ふなずし」は、Q1では50%以上の人が「知っている」と回答した割には、「食べたことがある」と回答した人は20%以下と極端に少なくなっている。
- ・地域別に大きな差がみられる食材として、「近江米」を「食べたことがある」と回答した人は、京阪神圏で46.5%なのに対し、首都圏では12.0%、「湖魚」についても、京阪神圏で26.6%に対し、首都圏では10.5%と、ともに倍以上の差がみられる。
- ・全体的に、「食べたことがある」と回答した人は、Q1で「知っている」と回答した人と比較して少なくなっており、「特にない」と回答した人も24.4%に上っていることから、知っていることが、食べるという行動に結びついていないことが窺える。

Q3 次の滋賀の食材のうち、贈答用に購入したことがあるものは、ありますか。(答えはいくつでも)

1 位:特にない	60.5%
2 位:近江牛	15.7%
3 位:無回答	15.4%
4 位:近江米	6.9%
5 位:湖魚	5.8%
6 位:近江の茶	5.2%
7 位:ふなずし	4.5%
8 位:近江の野菜	3.6%
9 位:近江の漬物	3.3%
10位:その他	0.2%

- ・「特にない」が60.5%と最も多く、特に50歳以上の人は74.0%となっており、半数以上の人が贈答用には購入していない。
- ・「購入したことがある」と回答した人でも、最高が「近江牛」の15.7%となっている。

Q4 滋賀県産の食材全般に対して、どのようなイメージをお持ちですか。(答えはいくつでも)

1 位:琵琶湖などの自然環境に配慮して生産されている	36.1%
2 位:おいしいものがたくさんある	31.9%
3 位:特にイメージがわからない	30.5%
4 位:地域の風土、歴史、伝統に根差した食材がある	29.8%
5 位:他の都道府県にはない特徴的な食材がある	26.5%
6 位:安全・安心な食材である	14.4%
7 位:他の都道府県と比べて魅力を感じない	4.8%
8 位:その他	0.3%

・「琵琶湖などの自然環境に配慮して生産されている」(36.1%)、「おいしいものがたくさんある」(31.9%)、「地域の風土、歴史、伝統に根差した食材がある」(29.8%)、「他の都道府県にはない特徴的な食材がある」(26.5%)など、良いイメージを持っている人が多い。

・「おいしいものがたくさんある」と回答した人は、京阪神圏では40.5%なのに対し、首都圏では26.1%にとどまっている。

・一方で、「特にイメージがわからない」と回答した人も30.5%(全ての世代で25%以上)に上っている。

Q5 近江米(※)に対して、どのようなイメージをお持ちですか。(答えはいくつでも)

※ 滋賀県産のお米の総称

1 位:おいしい	18.5%
2 位:品質が良い	16.3%
3 位:価格と品質のバランスが良い	14.7%
4 位:安全・安心である	10.6%
5 位:何もイメージがわからない	9.5%
6 位:価格が高い	6.5%
7 位:琵琶湖などの周辺環境に配慮した生産をしている	6.3%
8 位:価格が安い	5.0%
9 位:農薬や化学肥料の使用量が少ない	4.7%
10位:その他	0.3%

・「おいしい」(18.5%)、「品質が良い」(16.3%)などとなっている。

・地域別に大きな差がみられる項目として、「おいしい」と回答した人は、京阪神圏で31.3%なのに対し、首都圏では9.9%、「品質が良い」と回答した人も、京阪神圏で26.4%に対し、首都圏では9.5%と、ともに倍以上の差がみられる。

・「琵琶湖などの周辺環境に配慮した生産をしている」が6.3%、「農薬や化学肥料の使用が少ない」が4.7%となっており、県が推進する「環境こだわり農産物」などが知られていないことが窺える。

※Q1で「近江米」を「知っている」と回答しなかった人は、本設問では上記順位から除外している。

Q6 近江牛に対してどのようなイメージをお持ちですか。(答えはいくつでも)

1 位:高級(高品質・高価格)である	47.3%
2 位:おいしい	41.5%
3 位:品質が良い	34.0%
4 位:特産・名産である	25.5%
5 位:日本三大和牛である	14.7%
6 位:歴史がある	13.4%
7 位:安全・安心と思う	13.1%
8 位:価格と品質のバランスが良い	9.0%
9 位:何もイメージがわからない	6.0%
10位:その他	0.3%

・「高級(高品質・高価格)である」(47.3%)、「おいしい」(41.5%)、「品質が良い」(34.0%)など、高価だが、品質が良くおいしいと回答した人が目立つ。

・地域別に大きな差がみられる項目として、「おいしい」と回答した人は、京阪神圏で50.0%なのに対し、首都圏では35.8%と、14.2%の差がみられる。

※Q1で「近江牛」を「知っている」と回答しなかった人は、本設問では上記順位から除外している。

Q7 琵琶湖で獲れる水産物、「湖魚」(※)に対して、どのようなイメージをお持ちですか。(答えはいくつでも)

※ コアユ、ビワマス、ホンモロコ、ニゴロブナ、セタジミなど

1 位:貴重な魅力ある食材	15.9%
2 位:購入できる場がない	10.0%
3 位:おいしい	8.7%
4 位:魚が減って希少であり、食べようと思わない	5.1%
5 位:海の魚の方がおいしい	5.0%
6 位:価格が高い	4.9%
7 位:何もイメージがわからない	2.8%
8 位:調理しやすい・食べやすい	2.4%
9 位:琵琶湖で獲れるのは外来魚ばかり	2.0%
11位:琵琶湖の魚が食べられると知らない	0.8%
12位:その他	0.3%

・「貴重な魅力ある食材」と回答した人は15.9%、「購入できる場がない」と回答した人は10.0%となっている。

※Q1で「湖魚」を「知っている」と回答しなかった人は、本設問では上記順位から除外している。

Q8 あなたは、滋賀県に何か縁がありますか。(答えはいくつでも)

1 位:すべてあてはまらない	37.9%
2 位:滋賀県に観光で行ったことがある	34.7%
3 位:滋賀県に友人や知り合いがいる	18.9%
4 位:滋賀県にビジネスで行ったことがある	17.8%
滋賀県をテレビやインターネットなどで見て、知っている	17.8%
5 位:滋賀県に親せきがいる	11.1%
6 位:滋賀県出身である	3.6%
7 位:その他	2.2%

- ・「すべてあてはまらない」と回答した人は37.9%に上り、特に、首都圏では47.2%の人が回答している。
- ・「滋賀県に観光で行ったことがある」と回答した人は34.7%おり、特に京阪神圏では50.7%が回答しており、年代別で見ると50歳未満では20%台であるが、60歳以上は44.5%となっている。

Q9 食材を購入する際、重視することは何ですか。(答えは3つまで)

1 位:味、おいしさ	68.7%
2 位:価格	57.6%
3 位:鮮度	42.5%
4 位:品質(大きさや形、色、外観など)	27.8%
5 位:生産方法(安全安心)	10.5%
6 位:自分で食材を購入しない	8.8%
7 位:生産者表示や産地	6.3%
8 位:特に気にしていない	4.3%
9 位:生産方法(環境や社会的責任への配慮)	3.6%
10位:世間の評判(マスコミ、口コミなど)	1.9%
11位:パッケージデザインなど	1.6%
12位:その他	0.1%

- ・「味、おいしさ」(68.7%)、「価格」(57.6%)、「鮮度」(42.5%)の順に重視する人が多く、いずれも、年齢が上がるにつれて高くなっている。
- ・生産方法(安全安心)(10.5%)や「生産者表示や産地」(6.3%)など、食の安全・安心等に関わる項目と回答した人は少ない。

Q10 あなたが普段の生活で関心をお持ちのテーマに近いものは、次のうちどれですか。(答えは3つまで)

1 位:食	46.0%
2 位:観光・旅行	37.4%
3 位:ファッション	21.9%
4 位:読書	19.3%
5 位:特にない	14.2%
6 位:アニメ	13.1%
7 位:スポーツ観戦	11.4%
8 位:スポーツ	11.2%
9 位:エコ・ロハス	9.6%
10位:芸能	8.8%
11位:お笑い	8.4%
12位:その他	3.3%

・「食」と回答した人は46.0%と最も高く、関心の高さが窺える。

・次いで、「観光・旅行」(37.4%)、「ファッション」(21.9%)となっている。